

News Release



株式会社ファーマフーズ

会社名 株式会社ファーマフーズ
代表者名 代表取締役社長 金 武祐
コード番号 2929
上場取引場所 東証マザーズ
本社所在地 京都市西京区御陵大原1番地49
TEL075-394-8600 FAX075-394-0099

各位

新規がん治療抗体「抗FSTL1抗体」の 国際がん免疫療法会議および日本癌学会での発表について

新規がん治療抗体「抗FSTL1(エフエスティエルワン)抗体」の研究結果が、下記のとおり発表されましたので、お知らせいたします。

【第2回 国際がん免疫療法会議 (米国・ニューヨーク 9月25日～28日開催)】

演題 : "Targeting FSTL1 augments therapeutic activities of immune checkpoint inhibitors"

発表者 : 国立がん研究センター研究所・分子細胞治療研究分野・工藤 千恵

【第75回 日本癌学会学術総会 (横浜 10月6日～8日開催)】

演題 : 「FSTL1 阻害によるがん進展支持環境の改善」

発表者 : 国立がん研究センター研究所・分子細胞治療研究分野・工藤 千恵
株式会社ファーマフーズ・石田 有希子、庄屋 雄二、豊浦 雅義

抗FSTL1抗体とは、ニワトリモノクローナル抗体作製技術 [ALAgene technology (Avian Lead Antibody Gene technology アラジン テクノロジー)]によって創生されたFSTL1という分子の機能を阻害する抗体で、国立がん研究センター研究所・分子細胞治療研究部門・ユニット長の工藤千恵氏とともに新規がん治療薬として共同開発しています。既に、複数のがん腫のマウスモデルを用いて治療効果を確認しており、現在がん治療領域で最も注目を集めている免疫療法の分野において、次世代型の免疫チェックポイント阻害剤の候補としてだけでなく、様々ながん種で高頻度で生じ、患者の生活の質(QOL)を低下させてしまう骨転移の治療薬としても期待されています。

今回、工藤千恵氏は、従来のがん治療薬とは作用メカニズムが大きく異なるがん治療薬を開発している点を国際がん免疫療法会議オーガナイザーらから高く評価され、日本人では2人のみ Plenary Session 講演者に選定・招待され、希少がんなどに対して新たに確認した治療効果も併せて、抗FSTL1抗体の研究結果を講演しました。また、この研究成果の一部は、日本癌学会学術総会においても報告されました。